

政策番号	16	政策分野	高齢者福祉
------	----	------	-------

基本方針	いわゆる「団塊の世代」が高齢期を迎え、今後、介護給付費をはじめとした財政需要の増大が想定されるなか、高齢者自身が就労や社会参加を通じた生きがいをづくり、健康づくりを進めることにより、活力あるまちづくりを推進する。また、介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、介護・医療施設等の整備に取り組むとともに、地域住民参加型の見守りネットワークを構築し、地域全体で高齢者を支えるしくみづくりを推進する。
------	--

担当局	保健福祉局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関する 主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン
--------------------	---------------

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		23年度 評価値	32年度 目標値	26 年度	27 年度	28年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	認知症あんしんサポーター登録者数(人)	28,920	－	a	a	60,870	73,727	65,000	113.4%	a
2	施設・居住系介護保険サービス定員数(人分)	11,981	－	a	a	15,151	15,604	16,178	96.5%	a
3	地域包括支援センター相談件数(件)	239,203	－	b	b	250,044	260,502	262,546	99.2%	b
				a	a					a

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	26年度	27年度	28年度
1601	高齢者の尊厳を保つ社会の構築(2指標)	b	b	a
1602	活力ある長寿社会の実現(4指標)	b	a	b
1603	高齢者を支えるネットワークの推進(2指標)	a	b	a
1604	介護サービスの充実による豊かな生活の実現(2指標)	a	a	a
1605	魅力ある介護現場の実現(1指標)	e	b	c
(5施策平均)		b	a	a

政策の客観指標総合評価	26年度	27年度	28年度
(政策の客観指標評価:施策の客観指標評価＝1:0.5)	a	a	a

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		26年度	27年度	28年度
1	高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実した暮らしを送れている。	c	c	c
2	高齢者の知恵や経験、技能が社会に生かされている。	c	c	c
3	高齢者が地域で見守られ支えられて、安心してらせるまちになっている。	c	c	c
4	介護サービスや住環境整備などが充実し、高齢者が住み慣れた地域でそのひとらしい暮らしを送れている。	c	c	c
5	高齢社会が進展するなか、介護職が重要な仕事となっている。	a	a	a
政策の市民生活実感調査総合評価		b	b	b

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

26年度		27年度		28年度	
順位	%	順位	%	順位	%
14	83.9%	16	80.8%	13	80.6%

3 総合評価

B	政策の目的がかなり達成されている		
【客観指標総合評価】 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。		27年度	B
【市民生活実感調査総合評価】 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。		26年度	B
【総括】 ・市民の実感については、介護職の重要性以外は「どちらとも言えない」との回答が多数であり、実感の向上に向けて引き続き取り組む必要があるが、高齢者を支える人材育成や基盤整備は一定進捗しており、政策の目的はかなり達成されている。			

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		26	27	28
1601	高齢者の尊厳を保つ社会の構築	B	B	B
1602	活力ある長寿社会の実現	B	B	B
1603	高齢者を支えるネットワークの推進	B	B	B
1604	介護サービスの充実による豊かな生活の実現	B	B	B
1605	魅力ある介護現場の実現	C	B	B

<今後の方向性>

①高齢者の尊厳を保つ社会の構築

・今後とも成年後見制度の普及・啓発に努めるとともに、関係機関・団体と連携しながら、申立支援や市民後見人の養成、法人後見に対する支援など、権利擁護対策を積極的に推進し、高齢者一人ひとりが、自らの意思に基づき、住み慣れた地域で、いきいきと健やかに暮らせる社会の実現に向け、取り組んでいく。

②活力ある長寿社会の実現

・活力ある長寿社会の実現に向け、高齢者の技能等の活用や、地域で支える仕組みづくりを推進する。

③高齢者を支えるネットワークの推進

・高齢化率の上昇や単身世帯の増加を踏まえて、高齢者が地域において安心していつまでも生活できるよう、老人福祉員活動の推進や地域包括支援センターの機能の充実及び運営の質の維持・向上、地域の様々な社会資源の連携により、今後とも高齢者を支えるネットワークを推進していくとともに、これらの取組に対する認知や理解の広がりを図る。

④介護サービスの充実による豊かな生活の実現

・引き続き、長寿すこやかプランに定められた整備目標の達成に向けて、介護を必要とする状況になっても住み慣れた地域で生活し続けることができるよう、地域密着型サービスの推進など、介護サービス基盤の整備に取り組むとともに、一層の周知を図る。

⑤魅力ある介護現場の実現

・今後とも多くの福祉関係従事者や市民の方に福祉に関する知識や技術を高めるとともに、介護職場の魅力が向上するよう、京・福祉の研修情報ネットに搭載する研修・講座数の充実を図り、介護職員等のスキル向上に向けた支援を行う。

政策名	16	高齢者福祉
-----	----	-------

指標名	認知症あんしんサポーター登録者数（人）		
-----	---------------------	--	--

担当部屋	長寿社会部	連絡先	2 5 1 - 1 1 0 6
------	-------	-----	-----------------

1 指標の説明

認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法等を学んだサポーターの登録者数

2 指標の意味

高齢者の尊厳が保たれる社会の構築に向けた進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：当該年度末時点の登録者数
出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	28,920	-	

	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	数値	単年度目標値 根拠	達成度
数値	60,870	73,727	12,857人増	65,000	「平成29年度末の目標である8万人」の達成のために、当該年度達成すべき数値（累計）	113.4%

	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
		根拠				
数値		80,000	29年度	92.2%	第6期京都市民長寿すこやかプラン	京都市民長寿すこやかプランの改訂に伴い、目標値を変更した。

5 評価基準

単年度目標に対する達成率が
a：100%以上
b：90%以上100%未満
c：80%以上90%未満
d：70%以上80%未満
e：70%未満

6 基準説明

認知症に関する知識は、市民に周知されることが望ましいことから、目標値の100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

26	27	28
a	a	a

指標名	施設・居住系介護保険サービス定員数（人分）		
-----	-----------------------	--	--

担当部屋	長寿社会部	連絡先	2 1 3 - 5 8 7 1
------	-------	-----	-----------------

1 指標の説明

介護保険施設及び介護専用居住系サービスの定員数

2 指標の意味

介護サービスの充実度を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：当該年度末時点の介護保険施設等の実定員数から前年度末時点の実定員数を差し引いて算出
出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	11,981	-	

	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	数値	単年度目標値 根拠	達成度
数値	15,151	15,604	453人増	16,178	平成29年度末までに目標を達成するために当該年度達成すべき数値	96.5%

	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
		根拠				
数値		17,104	29年度	91.2%	第6期京都市民長寿すこやかプラン	京都市民長寿すこやかプランの改訂に伴い、目標値を変更した。

5 評価基準

最新数値が、目標値に対して、
a：90%以上
b：80%以上～90%未満
c：70%以上～80%未満
d：60%以上～70%未満
e：60%未満

6 基準説明

当該指標については、民間事業者による整備促進を図るものである困難性に鑑み、90%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

26	27	28
a	a	a

政策名	16	高齢者福祉					
指標名	地域包括支援センター相談件数（件）						
担当部室	長寿社会部		連絡先	2 5 1 - 1 1 0 6			
1 指標の説明							
地域包括支援センターへの年間相談延べ件数							
2 指標の意味							
地域全体で高齢者を支えるネットワークの構築状況を示す指標			3 算出方法・出典等				
			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
10年後の（平成32年度）目標値		平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠			
		239,203	-				
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度	
数値	250,044	260,502	10,458件増	262,546	前年度実績の5%増の数値	99.2%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準							
単年度目標に対する達成率が a：100%以上 b：90%以上100%未満 c：80%以上90%未満 d：70%以上80%未満 e：70%未満			6 基準説明				
			積極的な対象者の発見を重視し、目標値の100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。				
7 評価結果							
26		27		28			
b		b		b			